

「泣いた赤鬼」

無料テスト対策練習問題プリント②



- 【 I 】「泣いた赤鬼」の だい4の ばめんを よんで もんだいに こたえましょう。
- 問 I 「村に出かけて、ぼくだけうんとあばれよう。」と言ったのは、赤おにと 青おに どちらですか。

問2 「そうすれば、みんながきみをほめるだろう。」とありますが、「みんな」とは だれのことですか。お話の中から ぬき 出して こたえましょう。





問3 青おには、赤おにに なにをするように 話しましたか。つぎ の中から ただしいものを えらび Oでかこみましょう。

あ:村に出かけて、人間を安心させる

い:村に出かけて、あばれる

う:青おにの頭をなぐる

え:青おにを ほめる

問4 「それでは、きみにたいしてすまないよ。」とありますが、 このときの 赤おにの 気もちを つぎの中から えらび ○でかこみましょう。

あ:青おにを なぐるのは もうしわけない

い:青おにを なぐるのは こわい

う:人間が しんじてくれるか じしんがない

え:さくせんが うまくいくか ふあんだ

問5 青おにと 赤おには はじめに どの家に 行きましたか。 お話の中の ことばを つかって こたえましょう。



問6 青おにが あばれた 家には だれが すんでいましたか。 お話の中から ぬき出して11もじで こたえましょう。

【2】「泣いた赤鬼」の だい5の ばめんを よんで もんだいに こたえましょう。

問 I 「らんぼうおに」とは だれのことですか。お話の中から ぬき出して こたえましょう。

問2 「げんこつでコツンと一つうちました。」とありますが、 このときの 赤おにの きもちとして いちばん ただしい ものを つぎの中から えらび 〇でかこみましょう。

あ:あんまり いたくないように したいな。

い:青おにを おこらせないように したいな。

う:人間は ちゃんと 見てくれているかな。

え:青おには らんぼうをして わるい おにだな。





問3 「青おには、首をちぢめて小さな声で言いました。」とありますが、なぜ小さな声で言ったのですか。つぎの中から ただしいものを えらび ○でかこみましょう。

あ:なぐられて げんきが なかったから

い:赤おにが こわかったから

う:もう なぐらないで ほしかったから

べえ:人間に きこえないように するため

問4 「村人たちは、後ろからあっけにとられて見ています。」とありますが、村人たちは なにに おどろいたのですか。「~から」と つづくように お話の中の ことばを つかって 30~40もじで こたえましょう。

問5 村人たちは 赤おにを どんなおにだと おもいましたか。 お話の中から ぬき出して こたえましょう。





【3】「泣いた赤鬼」の だい6の ばめんを よんで もんだいに こたえましょう。

問 l 「赤おにはとんで出てむかえました。」とありますが、この ときの 赤おにの きもちとして ただしいものを つぎの 中から 2つ えらびましょう。

あ:あせっている

い:おどろいている

う:よろこんでいる

え:こわがっている

問2 「一つだけ気になることがありました。」とありますが、 気になることとは なんですか。「~こと」と つづくように お話の中の ことばを つかって こたえましょう。

問3 赤おには、青おにが どうして たずねて こないと かんがえましたか。2つ、お話の中から ぬき出して こたえましょう。





問4 青おにの はりがみには「マコトニ ツマラナイ」とありますが、なにを つまらないと 青おには かんがえて いますか。「~こと」と つづくように お話の中の ことばを つかって こたえましょう。

問5 「なみだをながして読みました。」とありますが、このとき の 赤おにの きもちとして ただしくないものを つぎの 中から えらび ○でかこみましょう。

あ:青おにくんに あえないのは かなしいな

い:青おには ぼくのことが きらいなんだ

う:青おにくん ありがとう

え:青おにくんに もうしわけない









「泣いた赤鬼」

無料テスト対策練習問題プリント② (解答)

日とからこの歌節音

問 | 青おに

問2 青おに

問3 う

問4 あ

問5 村のはずれの小さな家

問6 おじいさんとおばあさん







[2]

問1 青おに

がるこの歌節管 問 2

問3 え

問4 おには、みんな、らんぼうものだと思っていたのに、 赤おにはまるでちがう(から)

問5 やさしいおに でこの歌語音

問1

問2 青おにが、あれから一度もたずねてこなくなった(こと)





問3 ・ぐあいがわるくて、ねている

角でもいためている

こったがう 人間が赤おにをうたがう(こと)

